

資料 3

第 3 期中央教育審議会大学分科会
大学教育部会(第 2 回)H18. 3. 16



東北大学の学生支援の現状と今後

教育・学生支援担当理事 菅井邦明



東北大学

東北大学

大学院 14 研究科
 1 教育部
 3 専門職大学院（法科・公共政策・会計）

学部 10 学部

附置研究所 5 研究所

学内共同教育研究施設等 18 施設

大学院後期 2,939 人

大学院前期 4,065 人

学部学生 10,690 人

} 17,694 人

留学生 1,173 人



東北大学

法人化前夜（平成15年4月～6月）

教育条件・教育環境構想プロジェクト発足

- 1 入口～出口WG
- 2 教務関係WG
- 3 学生・教職員生活・健康相談WG
- 4 学生寄宿舍WG
- 5 課外・厚生WG
- 6 学生生活協議組織WG

この報告及び文部科学省各種答申を指針として、学生支援の改善を進めている



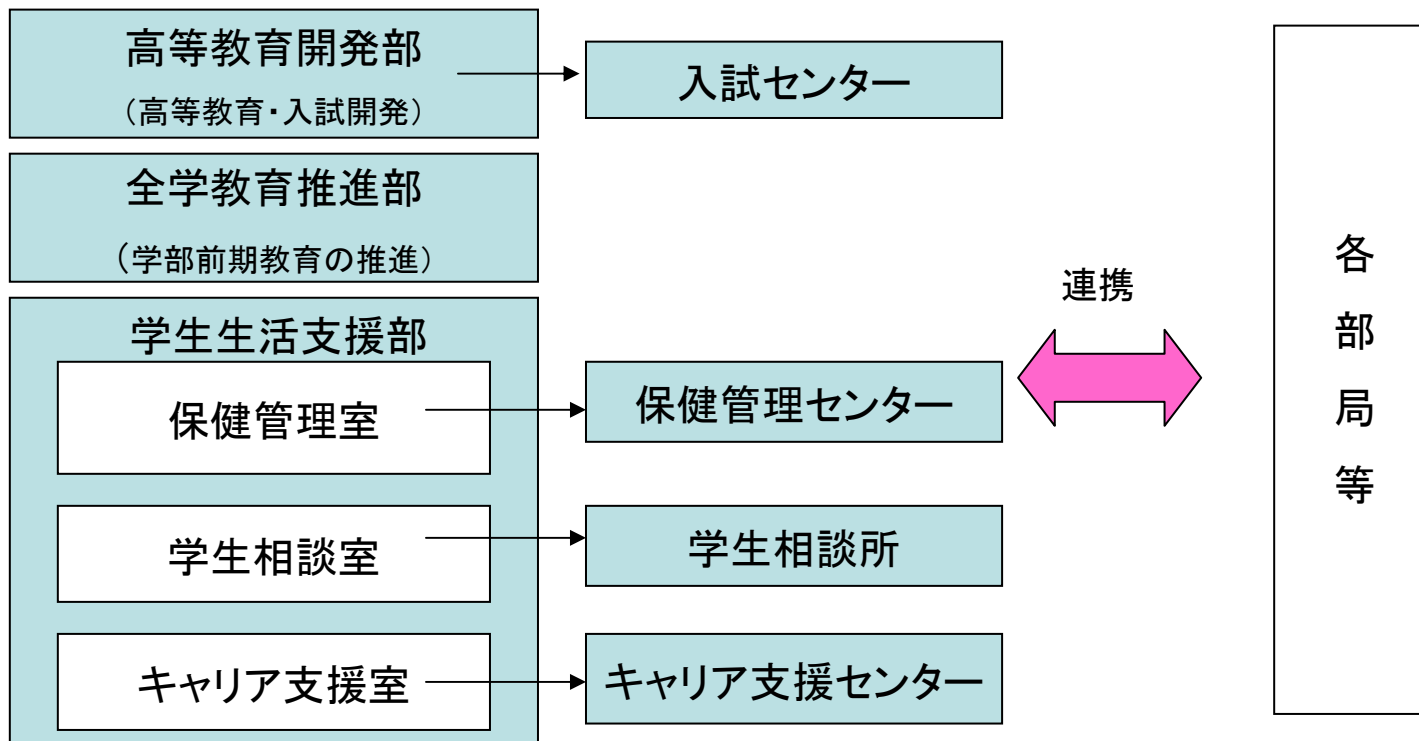
高等教育開発推進センターの設置

(平成16年10月)

高等教育開発推進センター

センター長

副センター長



- 全学の高等教育のシンクタンクに
- 教育と学生支援の整理統合



東北大学

東北大学の学生支援の考え方（私見）

- 1 一部学生への支援から全学生のスペシャル・ニーズへの支援
- 2 相談内容・施設等の総合化・一体化された支援
- 3 見える支援
- 4 心身全体の健康の支援
- 5 予防的支援
- 6 支援・相談の人材の専門性確保
- 7 国際的大学としての相談体制と支援
- 8 安全・安心・公平な大学環境



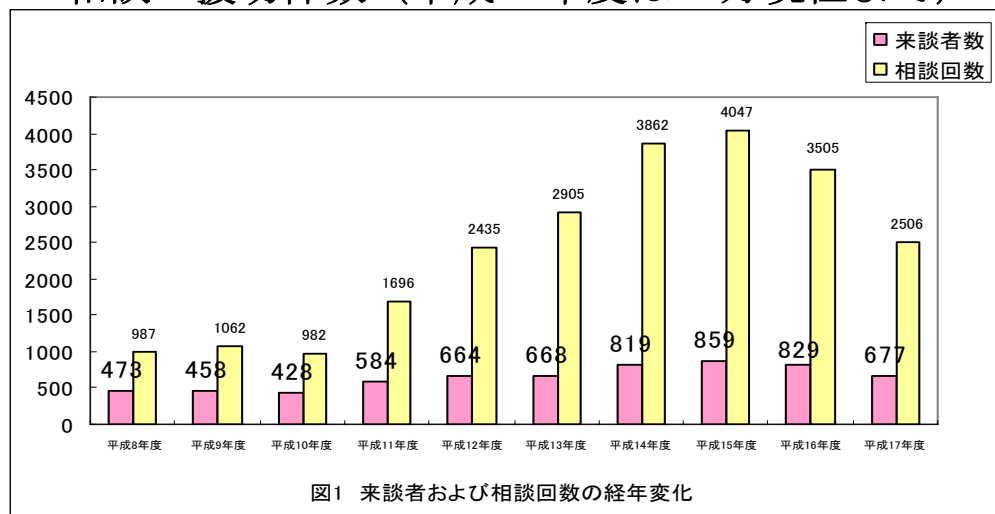
東北大学

東北大学

1 学生相談の現状

常勤相談員 5名
(ハラスメント相談員も兼務)
非常勤相談員 2名

相談・援助件数（平成17年度は12月現在まで）



相談内容	例
心理性格	「落ち込んで、何に対しても意欲が湧かない」「自分が何をしたいのかわからない」「発表しようとするやと震えがくる」「劣等感にさいなまれる」「固い考えをやわらげたい」「東北大をとったら自分には何も残らない（だから先の見込みはないがしがみついているしかない）」
進路修学	「（過年度学生）このままでは駄目だと思って」「ずっと前に先生（親）に相談に行けと言われてて」「子どもがひきこもっている」「子どもが退学したいといっている」など、不登校・ひきこもり相談や、休・退学や、留年からの再挑戦に関わる相談・援助活動等
心身健康	「何もやる気がしない、食欲なく、眠れない」などのうつ症状、PTSD、統合失調症、被害関係念慮(心因反応)、希死念慮、自傷行為、身体症状など
対人関係	親子関係、恋人との関係、サークルや寮、研究室での人間関係
学生生活	恋愛、サークル、アルバイト、交通事故、悪質商法、カルト宗教などに関する悩み
その他	トラブル・ハラスメント相談など

全学的ネットワーク

- ・ 学生支援全学連携・連絡会（2回）
- ・ 全学「部局学生支援相談担当責任者」協議会（2回）
- ・ 東北大学における学生相談・学生サービスの展開を考える研究会（2回）

特記すべき学部活動例

- ・ キャンパスライフ支援室（理）、学生生活支援室（歯）
教育相談室（工）などの設置
- ・ 就職相談会、女子学生・院生交流会（理）

課題：
・ 相談件数の増加
・ 相談内容の多様化
・ ハラスメント相談の増加

2 就職支援の現状

- ・ 就職相談者数の増加
- ・ 理系の学部・院生の相談の増加

就職相談利用者数（平成17年度は1月末までのデータ）

	学部生	大学院生
16年度	72	34
17年度	89	52

キャリアカウンセリング利用者数
（平成17年度は1月末までのデータ）

	学部生	大学院生
16年度	28	11
17年度	13	13

課題：ライフデザイン・キャリア教育
の必要性

学部・大学院・既卒業生も

就職支援学生スタッフ作成の
就職支援本



3 課外活動の現状

学友会部数・・・文化部 2 3 部 体育部 4 4 部
(準加盟団体・・・文化系 3 8 部 運動系 3 3 部)

課外活動施設の現状

- ・片平地区と川内地区を中心に、市内外に施設が点在
- ・施設の老朽化

課題：アメリカ等に比べると非常に施設が貧弱
新キャンパス移転を契機とした施設整備
(予算の問題)

4 学生寄宿舎の現状

仙台市内3地区に6学寮を設置

寮名	構造(建築年度)	定員(人)	1月1日現員(人)	寄宿料(月額:円)
松風寮	鉄筋5階(昭57)	150	146	4,300
明善寮	鉄筋5階(昭56)	160	139	4,300
如春寮	鉄筋4階(昭56)	64	64	4,300
以文寮	鉄筋4階(昭50)	96	91	4,300
霽風寮	鉄筋2階(昭50)	81	78	4,300
日就寮	鉄筋4階(昭45)	103	67	700
計		654	585	

新寮「ユニバーシティ・ハウス三条」

特徴：PFIによる事業

(財政負担の縮減／民間の資金、経営能力及び技術的能力の活用)

キー・コンセプト

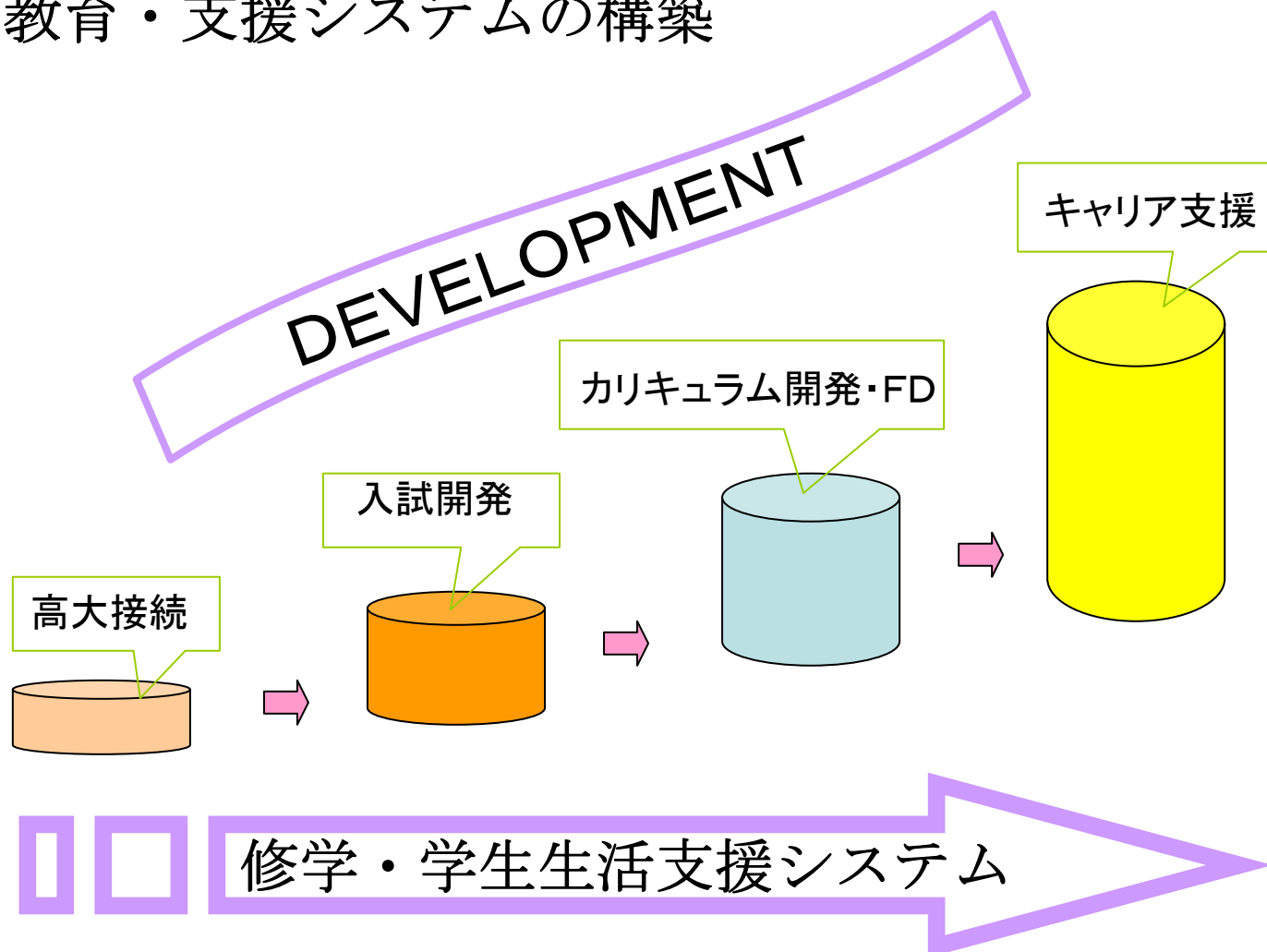
- ・国際化を牽引できる人材養成
- ・8個室1ユニット構成
- ・安心・安全な生活環境
- ・質の高い生活環境
- ・入居者ニーズ対応のサービス
- ・夏季休業中の短期利用

課題：寮の老朽化



5 東北大学の学生支援の課題

① 教育・支援システムの構築



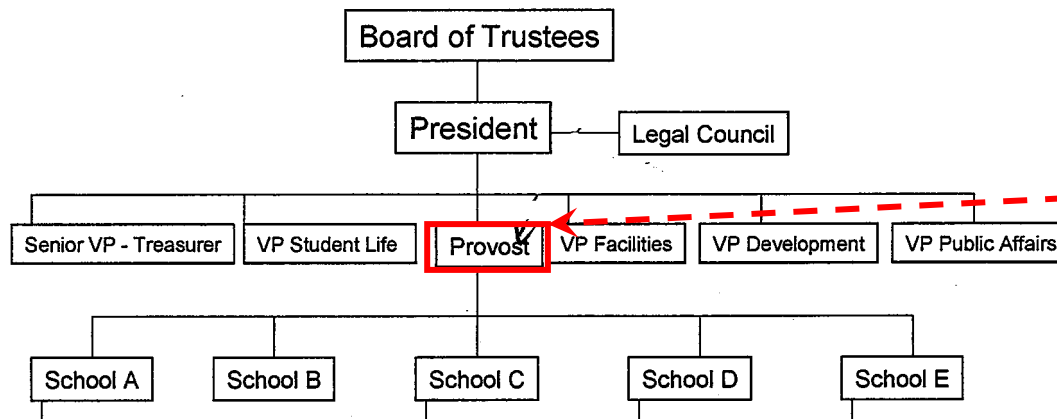
- ② 教員の仕事の多様化・多忙に伴う研究・教育時間
- ③ 財政的な課題（学生への経済的支援も含めて）

6 今後の展望

大学評価、特に自己評価による部局の改善と発展

- ① 何のための評価か？
- ② 東北大学の評価体制
- ③ 部局評価の実施体制
- ④ 大学情報データベースの構築

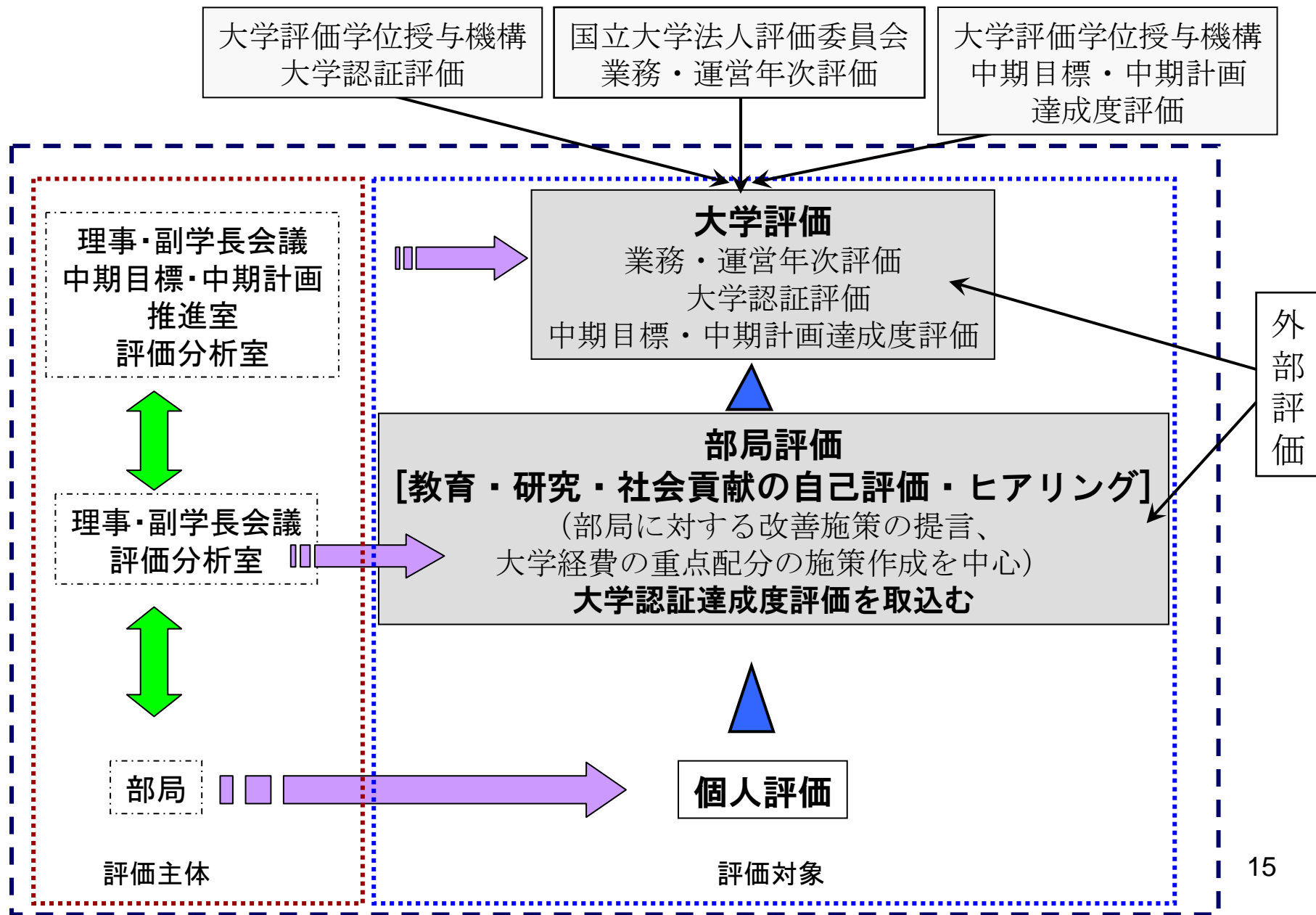
1. 何のための評価か？



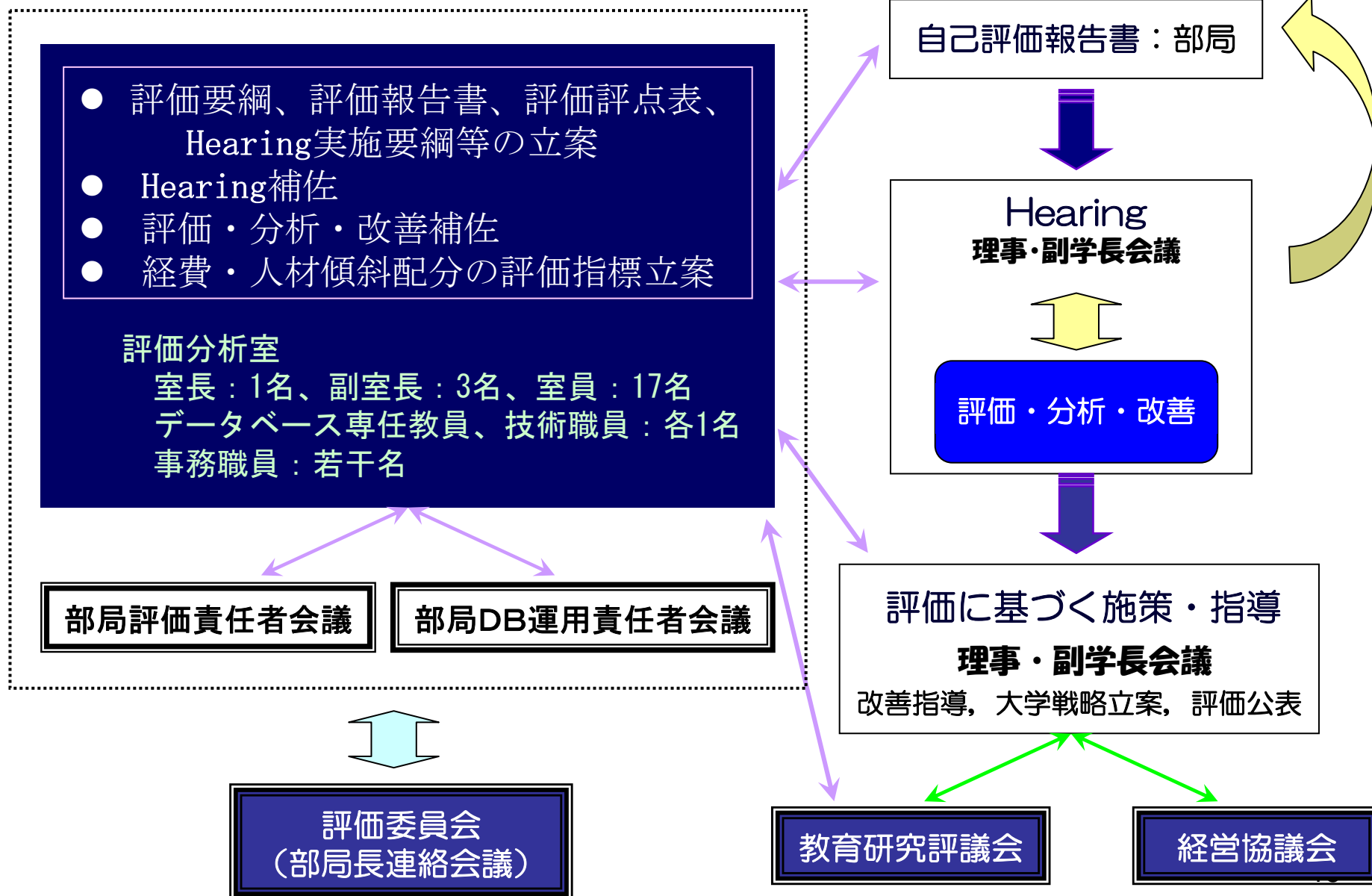
東北大学の評価目的

- ① 大学は部局自己評価を通して教育・研究・社会貢献活動の現状を把握し、卓越する点や改善すべき点を部局と共通認識することによって、部局諸活動の向上に資する施策・方針を策定・実施し、大学全体の教育・研究水準の向上を図る。
- ② 大学・部局は評価結果に基づき、卓越する点はより飛躍させ、改善すべき点は解決を図るよう、既存活動の見直しによる新たな教育・研究・社会貢献活動への取組みを実現する。
- 大学は評価結果に基づき、概算要求や総長裁量経費等の重点的な予算・人材等の資源配分の施策を講じる。
- ④ 大学は部局自己評価書、関連資料、評価結果等を集計・編集して、大学白書や大学年次報告 (Annual Report) としてまとめ、公開する。

2. 東北大学の評価体制



3. 部局評価の実施体制



4. 大学情報データベースの構築

